



マナウス日本人学校 学校便り

マナウス

平成 28 (2016) 年 9 月 27 日 第 7 号

学校教育目標

- ・自ら進んで学びとる子ども (知)
- ・礼儀正しく思いやりのある子ども (徳)
- ・心と体を鍛える子ども (体)

絆を深めたアマゾン体験学習

マナウス日本人学校 校長 中川 勝美

9月10日(土)～11日(日)の一泊二日の日程で、アマゾン体験学習を実施しました。

今年度のスローガン「遊べ!協力!笑顔!」のもと、アマゾン

を体全体で学ぶ体験学習にしよう取り組みました。船内でそれぞれ救命胴衣着用方法を確認し、その後船レクを行いました。

出田プライア到着後、高学年は自分の寝床づくり(ヘッジつり)を行いました。今年の観光船にはフックがないので紐を欄干にかけてつります。普段したことがない紐の結び方に子供たちは苦労していました。

本校の教員はもちろん、観光船のスタッフにも教えてもらいながら、真剣なまなざしで紐を結んだことも子供たちにとって貴重な体験となりました。

夕食のご飯を炊いている時のことです。お米がいよいよ沸騰するという一番大切な時に停電になるアクシデントが起きました。結果はお米の芯が残るめっこ飯になってしまいました。急遽、調理スタッフの機転でガスを使って炊き上げることにしました。ご飯を炊き上げる間、夜レクを行って大いに盛り上がりました。教職員による「聖徳太子ゲーム」も子供たちには大受けでした。

夜レクをしているうちに、知恵と工夫で何とかご飯も炊きあがり夕食になりました。ちょっと心配しましたが、子供たちは食欲旺盛で、おかわりをしてくれる子も多くいてほっと一安心しました。

食事のあと夜レクの続きを行いました。せっかくのアマゾン体験学習ですので、夕食の準備が遅れた分、就寝時刻を遅らせて、トランプをしたり遊んだりする「語らいの時間」を長く取りました。ピラルク号と観光船、それぞれで子供たち同士、交流を深めていたようです。

朝は、食事係が準備してくれたパンやフルーツをそれぞれ自分たちでサンドイッチにして食べました。ネグロ川の雄大な風景を眺めながら食べるサンドイッチもきっと思い出に深く残ることでしょう。

アマゾン体験学習の実施に関わり、保護者の皆様にご心配をおかけいたしましたこと、心からお詫び申し上げます。今年度は、ネグロ川に入る自然体験ができませんでしたが、子供たちは、アマゾンという大自然を肌で感じ、楽しくかつ貴重な体験を積むことができたのではないのでしょうか。

終わりになりますが、子供たちの送迎に関わり、お休みに



10月行事予定

- 1日(土) 水泳記録会
- 3日(月) 学習発表会に向けてポスター制作開始
- 4日(火) 全日中学部中間テスト(～5日)
- 8日(土) PTA秋の盆踊り大会
- 12日(水) 守護神祭でお休み
- 21日(金) ジョゼフィーナ校交流(2・3時間目)
- 24日(月) マナウスの日でお休み
- 25日(火) 日本文化コース選考試験
- 27日(木) 学習発表会特別時間割開始
- 28日(金) 委員会活動

夏休み中に保健室から音楽室・トイレまで天井の張替え工事を無事終わりました。白色の強化プラスチック板に変わり、明るくきれいになりました。また、体育館のステージもピカピカに丈夫になりました。さらに、飲み水を貯める水槽も改修し、高品質の飲み水として水質検査機関で証明されました。

もかかわらずお越しいただき、ありがとうございました。